

# 令和3年度 建設工事の検査等に関する講習会資料



焼津市公認マスコットキャラクター  
「やいちゃん」



焼 津 市

令和2年度  
検査結果、検査考察及び査察について

# 令和2年度 検査件数

	R02	R01	R02-R01
○建設工事	321件	380件	▲59件
完成検査	169件	214件	▲45件
既済部分検査	6件	4件	2件
出来形検査	5件	4件	1件
中間検査	121件	141件	▲20件
材料検査	8件	8件	0件
その他の検査	12件	9件	3件

	R02	R01	R02-R01
○業務委託	21件	38件	▲17件
完了検査	17件	31件	▲14件
既済部分検査	2件	2件	0件
出来形検査	1件	2件	▲1件
その他の検査	1件	3件	▲2件 <sub>3</sub>

# 検査の実施時期について

(すべての検査)

	R02		R01	
第1四半期(4～6月)	26件	7.6%	34件	8.2%
第2四半期(7～9月)	43件	12.6%	44件	10.5%
第3四半期(10～12月)	94件	27.5%	118件	28.2%
第4四半期(1～3月)	179件	52.3%	222件	53.1%
合計	342件		418件	

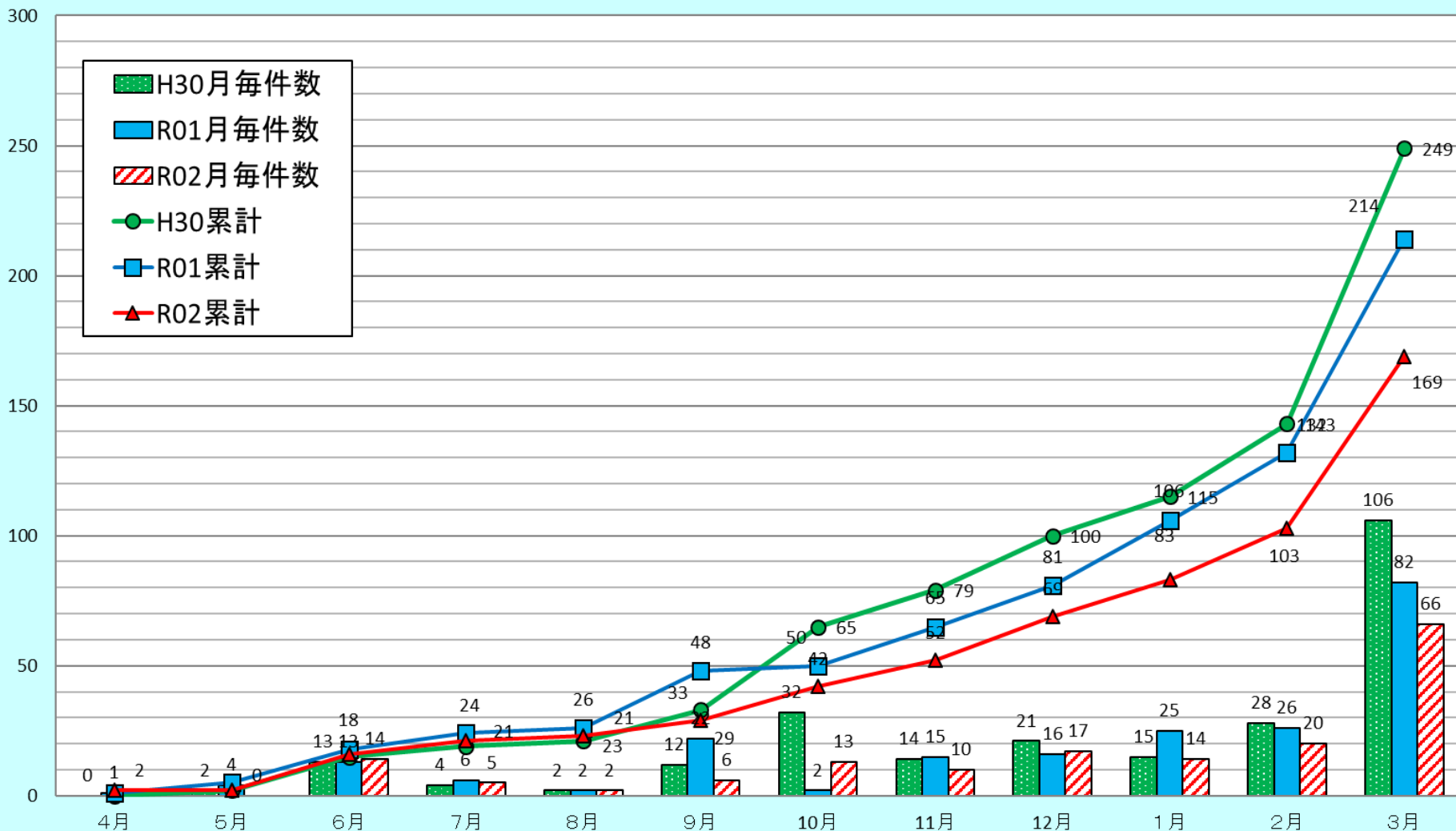
(完成、完了検査)

	R02		R01	
第1四半期(4～6月)	16件	8.6%	18件	7.3%
第2四半期(7～9月)	13件	7.0%	32件	13.1%
第3四半期(10～12月)	42件	22.6%	41件	16.7%
第4四半期(1～3月)	115件	61.8%	154件	62.9%
合計	186件		245件	

※検査件数は、建設工事と業務委託の各検査件数の合計

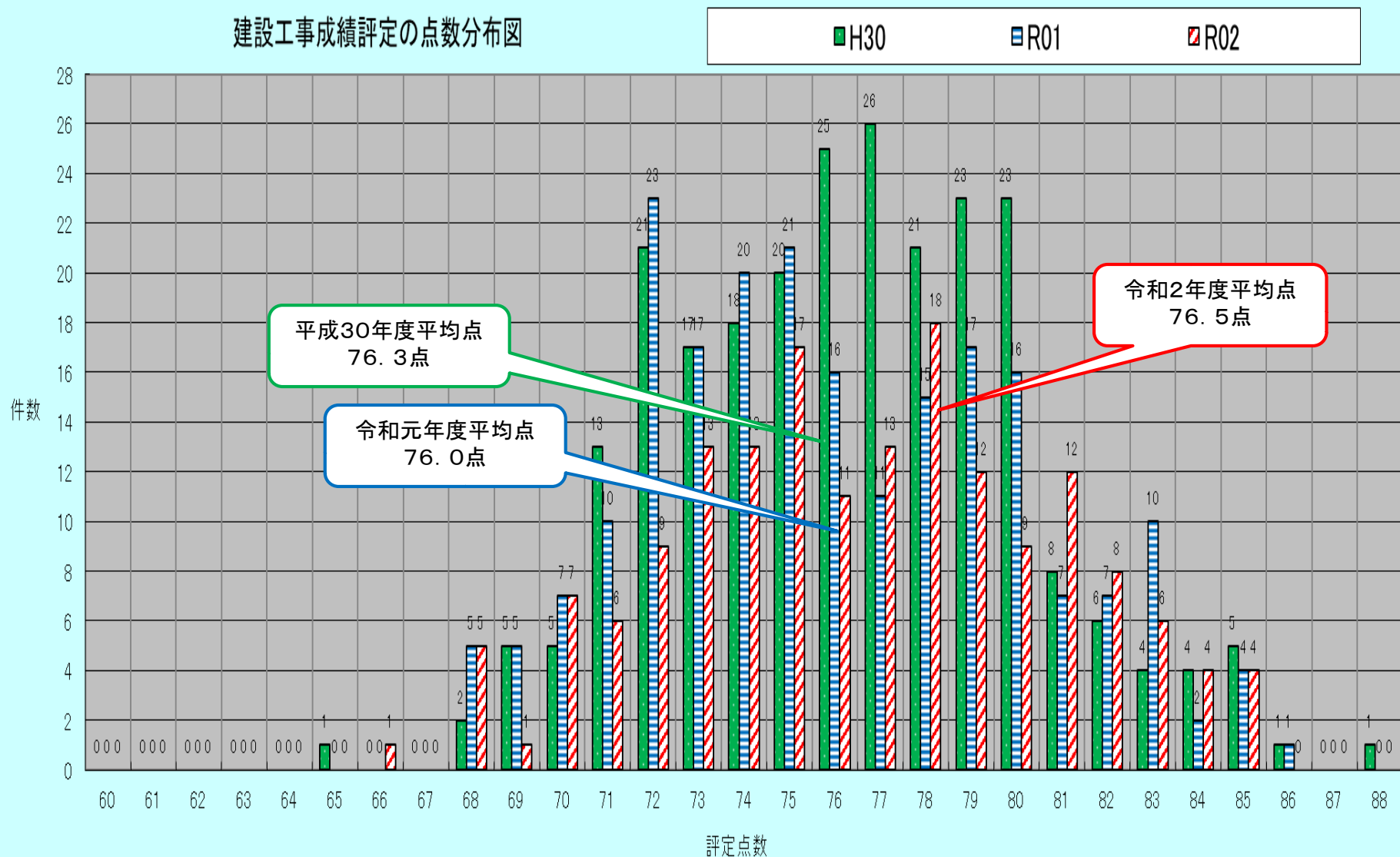
# 建設工事・完成検査件数

## H30・R01・R02 建設工事・完成検査件数



# 建設工事成績評定の年度別点数分布

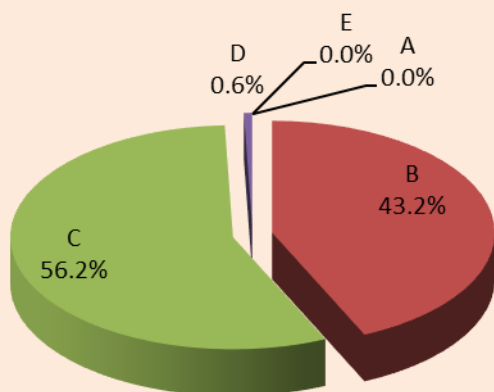
建設工事成績評定の点数分布図



# 建設工事成績評定結果

工事成績	件数	割合
Aランク(特に優れたもの 100~86)	0件	0%
Bランク(優良なもの 85~78)	73件	43.2%
Cランク(普通なもの 77~68)	95件	56.2%
Dランク(やや劣るもの 67~60)	1件	0.6%
Eランク(劣るもの 59以下)	0件	0%
合計	169件	100%

令和2年度 成績評定の内訳



# 工種分類における成績評定

	件数	R02 平均点	R01 平均点	最高点	最低点
全工事	169件	76.5	76.0	85	66
土木工事	108件	76.4	76.0	85	68
建築工事	24件	76.6	75.8	82	66
設備工事	14件	77.9	76.1	84	70
水道工事	23件	76.4	76.1	85	68

## 分類

土木工事: 土木一式、とび・土工・コンクリート、鋼構造物、舗装、浚渫、造園、塗装(土木工事)

建築工事: 建築一式、防水、塗装(建築工事)、解体

設備工事: 電気、電気通信、管、機械器具設置、消防施設

水道工事: 水道施設、さく井



# 評価の視点

## 1 施工体制について

- ①現場代理人、主任技術者(監理技術者)は現場をよく把握しているか。市担当者と協議等が十分に行われているか。
- ②施工体系図、施工体制台帳に基づき施工されているか。
- ③工事看板や建設業法等の標識は適切に掲示されているか。

## 2 施工状況について

- ①施工過程において仕様書、指針、要綱、施工計画書等に基づき施工されているか。
- ②現場の事前測量や設計照査が実施されているか。
- ③工程管理、安全管理等を適切に実施しているか。
- ④施工協議、資料等の整理を行っているか。
- ⑤工事記録写真(不可視部分を含む)、出来形管理表、品質管理書類は分かり易く整理されているか。

## 3 出来形・品質について

- ①工事目的物が使用目的を満たしているか。また、形状・寸法は規格値内に収まっているか。
- ②仕様書等に示された材料及び工事目的物が規格値や必要とされる機能を充たし、品質が保たれているか、また操作性は良好か。

## 4 出来ばえについて

工事目的物が施工面、通り、すり付け等において、きれいな仕上がりとなり機能的なものになっているか。

# 検査での事例

- ・特記仕様書で示されている管理項目について未実施があったことから、確認をするよう指導した。
- ・数量総括表について、設計数値(四捨五入後)であったことから、数量調書の数値へ変更するよう指導した。
- ・不可視部分についても測量データ及び写真を基に、丁寧に管理、整理していた。
- ・設計書のとおり施工され、また、不可視部分もわかり易く撮影されていた。
- ・地域貢献として枝払いやカーブミラーの清掃と幅広く実施していた。また、現場においても、看板による住民への周知や安全対策に配慮したこともうかがえた。
- ・川の中の工事及び用水時期までの短く限られた工程であったが、適正な施工管理を行い、工事を完了することができた。
- ・工事個所が点在し広範囲に及んだ中、地元対応にも尽力し苦情もなく工事が完成した。

# 創意工夫の事例

- ・架空線の事故防止対策として「のぼり旗」を設置した。
- ・熱中症対策としてミスト噴射付き扇風機や暑さ指数計測器を設置し、作業員の熱中症事故を凶った。
- ・ICT施工現場端末アプリ(快速ナビ)を使用することで、事前の座標計算や距離、角度計算が不要となり、また、現場の位置出しや観測作業を簡略化し、精度の高い計測、管理を行った。
- ・ボックスカルバートの目地部に防水テープを貼り付け、止水機能の向上及び目地を保護、伸縮機能の保全を図ることができた。
- ・構造物取壊し工において、現場に隣接している住宅等に騒音による迷惑にならぬよう、クラッシャーアームを使用し、騒音、振動の減少に努めた。
- ・重機に障害物感知システムを設置することにより、接近時に警報音で注意喚起し、事故の防止と作業員の安全を確保した。
- ・自動(人感センサー)で工事中と音声で呼びかける装置を設置することにより、歩行者等の通行の安全を確保した。
- ・現場事務所について、オールソーラーシステムを採用し、Co2削減に貢献した。
- ・現場事務所にAEDを常備し、また、普通救急救命講習会にも参加した。

# 工事査察の結果

	R02	R01	R02-R01
査 察	83件	88件	▲5件

請負金額500万円以上の工事から抽出、契約着手日から1ヶ月程度経過した建設工事について査察を実施、確認・指導を行った。公衆損害事故があった業者及びD評価の業者は請負金額が500万円未満であっても実施します。

## ○施工体制

- ・現場代理人の常駐や主任技術者・監理技術者の関与の確認  
工事看板や掲示物(建設業許可票、施工体系図)等の掲示状況・内容の確認
- ・施工体制台帳の現場備え置きの確認(現場事務所のない場合は車載)
- ・施工(工程)管理・・・工程表と進捗状況報告書の確認(現場にて聞き取り)
- ・現場管理・・・資材の保管状況や作業車両の駐車状況  
現場事務所内の備品の配置状況(救急箱・消火器・熱中症対策)
- ・安全管理・・・工事箇所周囲環境にあった安全対策の確認  
(第三者の施工区域内への進入防止)



工事担当課(監督員) → 改善等の指示 → 請負者

# 査察での主な指摘事項

- ・現場に施工体制台帳、施工計画書等の資料、救急箱、消火器を備えておくこと。
- ・道路使用許可証を見やすい場所に掲示すること。
- ・工事看板を公衆の見えやすい場所に設置すること。
- ・作業主任・有資格者一覧表、下請人に対する通知、安全訓練関係の掲示が無かった。
- ・仮設足場を使い河川内に第三者が容易に侵入できる状態であるため、適正な安全対策を実施すること。
- ・試掘を実施するなど現場着手しているが、工事看板が設置されていないため、早急に設置すること。

# 請負業者の皆様へ



建設工事における安全管理、公衆・労働災害の防止について、平素より配慮いただきありがとうございます。

今後においても、工事に関係する作業員に対し事故防止の啓発を行うとともに、安全管理を徹底し、現場内の労働災害はもとより公衆災害の防止に努めるようお願い致します。